

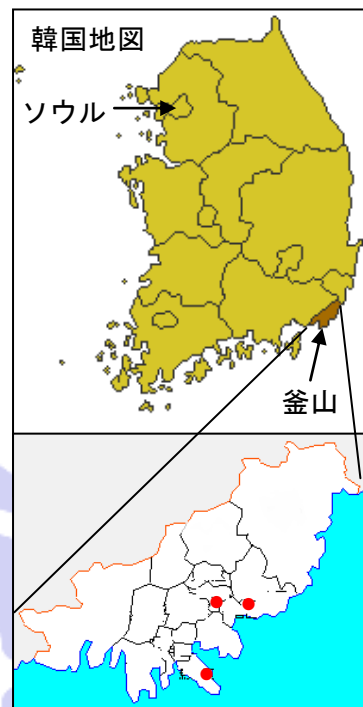
## ダイナミックな都市・釜山の今、そして未来 ～第2回クレアソウルセミナーの報告～

ソウル事務所

### 1. 釜山といえば？

みなさん、釜山といえば、何をイメージされるでしょうか。少し古いですが、日本でもおなじみの流行曲「釜山港へ帰れ」にもあるように、港町を想像される方が多いのではないのでしょうか。「釜山港へ帰れ」は 1976 年にヒットしましたが、それから約 35 年経ち釜山は、今や人口約 359 万人(2011 年 12 月末)の韓国第二の都市であり、韓国一の貿易港となっています。また、最近では、釜山国際映画祭が開催される「映画都市」としても知られています。

第2回クレアソウルセミナーでは、各地から集まった駐在公務員の方々と一緒に釜山市内を回りながら、釜山の今、そして未来について学んできました。その内容について報告します。



韓国地図  
ソウル  
釜山  
赤丸が主な行き先(地図左から釜山国立海洋博物館、市庁、映画の殿堂)

### 2. オープンしたばかりの釜山国立海洋博物館



釜山国立海洋博物館

まず私たちが向かったのは、釜山国立海洋博物館でした。約4万 5,000 m<sup>2</sup>(東京ドームと同じくらいの広さ)の敷地の一角に、滴(しずく)をモチーフにしたユニークな建物がどっしりと立て構えていました。韓国初の総合海洋博物館として、麗水国際博覧会(2012年5月12日から8月12日まで韓

国全羅南道麗水市で開催されていた国際博覧会)の時期に合わせ、2012年7月9日に開館されました。建物の中には海洋文化の歴史や科学、産業、生物など海に関わる分野のものが保存・展示されており、入館料は無料となっています。海洋文化観光産業育成のため、そして多くの国内外観覧客を見込むことで地



釜山国立海洋博物館 館内

域活性化を図ることを目的に建設されました。

### 3. 釜山広域市庁の広報館「釜山未来都市館」

午後からは、釜山市庁に向かいました。



釜山未来都市館（奥のドアが4D映像館の入口）

型もあり、そこでは、2020年の釜山の未来像について、スクリーン映像を使って英語・中国語・日本語で説明を聞くことができます。そして、さらにはその一角に4D映像館があり、映像を通して2020年の釜山の姿を見ることもできます。釜山未来都市館の外にも2020年の釜山の都市模型

があり、そこでも釜山10大ビジョンに沿った説明を受けました。

釜山10大ビジョンは、2020年までの釜山の計画を示したものであり、非常にポイントを絞ってわかりやすく釜山の目標が掲げられています。

<http://japanese.busan.go.kr/vision/>（釜山10大ビジョン）

釜山市庁1階には「釜山未来都市館」があります。そこでは釜山の過去、現在、そして未来のビジョンについて学ぶことができます。まず驚いたのは、市庁の一角にこんなに立派な空間があること。受付があり、案内嬢が出迎えてくれます。中に入るとパネルが並び、大きな都市模



釜山未来都市館（奥にパネル展示あり）

### 4. 釜山国際映画祭の専用館「映画の殿堂」

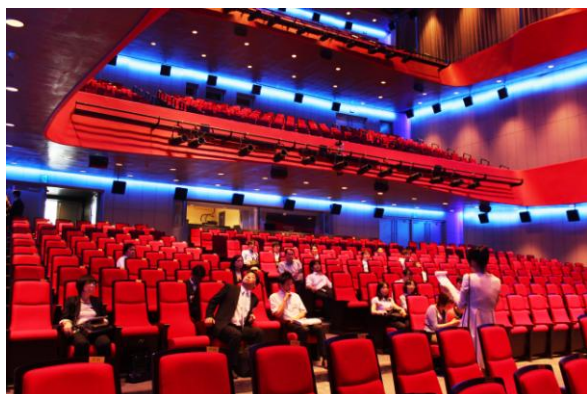
2012年10月4日から10月13日までの間、今年も釜山国際映画祭が開催されます。この釜山国際映画祭は1996年に創設され、今年で17回目を迎える今や韓国のみならずアジアでも有名な映画祭です。華やかな衣装に身を包んだ芸能人たちがレッドカーペットを歩く姿をテレビで見た方も多いのではないのでしょうか。

その映画祭の専用館として建てられたのが、「映画の殿堂」です。2011年に完成し、去年の釜山国際映画祭の開幕式が行われた場所としても有名です。豪華な施設と機能、ユ



映画の殿堂

ニークなデザインが特徴的で、釜山国際映画祭の観客動員数が増加したのも、この「映画の殿堂」の効果があったからだと言われています。



映画の殿堂内 映画館

今やすっかり映画祭のイメージで知られている釜山ですが、今後の戦略として、そこから一步前進して国際的競争力がある映画・映像産業を集中的に育成し、釜山をアジアにおける映画・映像のメッカに育てようとしています。これは釜山 10 大ビジョンの1つに挙げられていて、この映画の殿

堂が建てられたこともその1つですが、今後、映画専門大学の設立、映画村の建設なども計画され、また同時に映画関連の公共機関の移転（革新都市の建設※1）も計画されており、映画に特化した組織や施設を集めることによってアジア最高の映画・映像中心都市を目指そうとしています。

## 5. これからの釜山

2020 年に向けて釜山は、国際産業物流団地の建設、釜山港（北港）再開発、金海空港移転、夏季オリンピック誘致等の計画を立てています。

「ダイナミック釜山」というのが釜山のスローガンですが、私たちが見た釜山はその言葉にふさわしく、スケールが大きく、国際都市として進化しようとする釜山の積極的な姿勢・意気込みを感じることができました。

昔ながらの港町のイメージを保ちつつも新しい戦略を立てて投資を惜しまない釜山。今後の釜山の発展をこれからも見守り、報告していきたいと思います。

最後に、このセミナーを実施するにあたって、多大なご協力をいただきました釜山広域市ソウル本部職員の方々を始め、当日お世話になった釜山市職員のみなさまにこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

※1 革新都市とは・・・公共機関が地方へと移転するのを契機として、地域の成長拠点地域に造成される未来型都市のこと。公共機関が移転した地域で大学、研究所、産業体、地方自治体などがお互いに協力することにより、地域が新しく成長していく動力、基盤となる。革新都市は革新拠点都市、地域別テーマを持った特性化都市、環境都市、教育・文化都市の4種類の類型で建設され、市道別各地域の地域産業と関連したテーマを設定し、特色ある都市として開発される。

現在韓国では釜山を始め 10 の地域で革新都市の建設が進んでいる。  
(詳しくは自治体国際化フォーラム 11 月号に掲載予定です。)

(長谷所長補佐 富山県派遣)